



内容 1 講演会 14:00~15:10 (受付開始13:30) 講義室B 先着80名

- ①骨粗しょう症にともなう骨折の予防 ②明るい未来への第一歩
～健康寿命を延ばしましょ～
金山康秀 整形外科代表部長 14:00~14:30
～がん検診が守るあなたと家族の健康～
岡阪敏樹 呼吸器外科代表部長 14:40~15:10

内容 2 健診相談会 15:15~17:00 講義室B 先着30名

要予約 どんな健診を受けたらいいか迷っている方の相談会となります

健診スクール参加希望&令和7年度4月の健診予約を希望される方

内容 3 要予約 令和7年4月1日(火)~4月30日(水) 実施の健診予約会 先着50名

15:15~17:00 健康管理センター

※豊田市の受診券を利用してのご予約は、豊田市から送られてきた受診券を必ずご持参ください。
お忘れになった場合ご予約を承りません。

健診スクール参加 + 4月実施の健診ご予約者様限定イベント

※5月以降のご予約を希望される方は対象外となります。

- 1 ご予約待ち時間に
骨密度測定・血圧測定の
無料体験を実施!!
- 2 「新メニュー」をお試し価格で提供!!(4月の健診当日に実施)
■腸内フローラ検査 15,400円→11,000円 4,400円お得!!
■認知機能検査 22,000円→17,600円 4,400円お得!!

診療日カレンダー [Calendario de Atención]

1月							2月							3月							4月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
1	2	3	4				1	2	3	4	5	6	7	8	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5		
5	6	7	8	9	10	11	9	10	11	12	13	14	15	16	9	10	11	12	13	14	15	6	7	8	9	10	11	12
12	13	14	15	16	17	18	16	17	18	19	20	21	22	23	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
19	20	21	22	23	24	25	23	24	25	26	27	28	29	30	23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30	31	30	31
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29		23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			

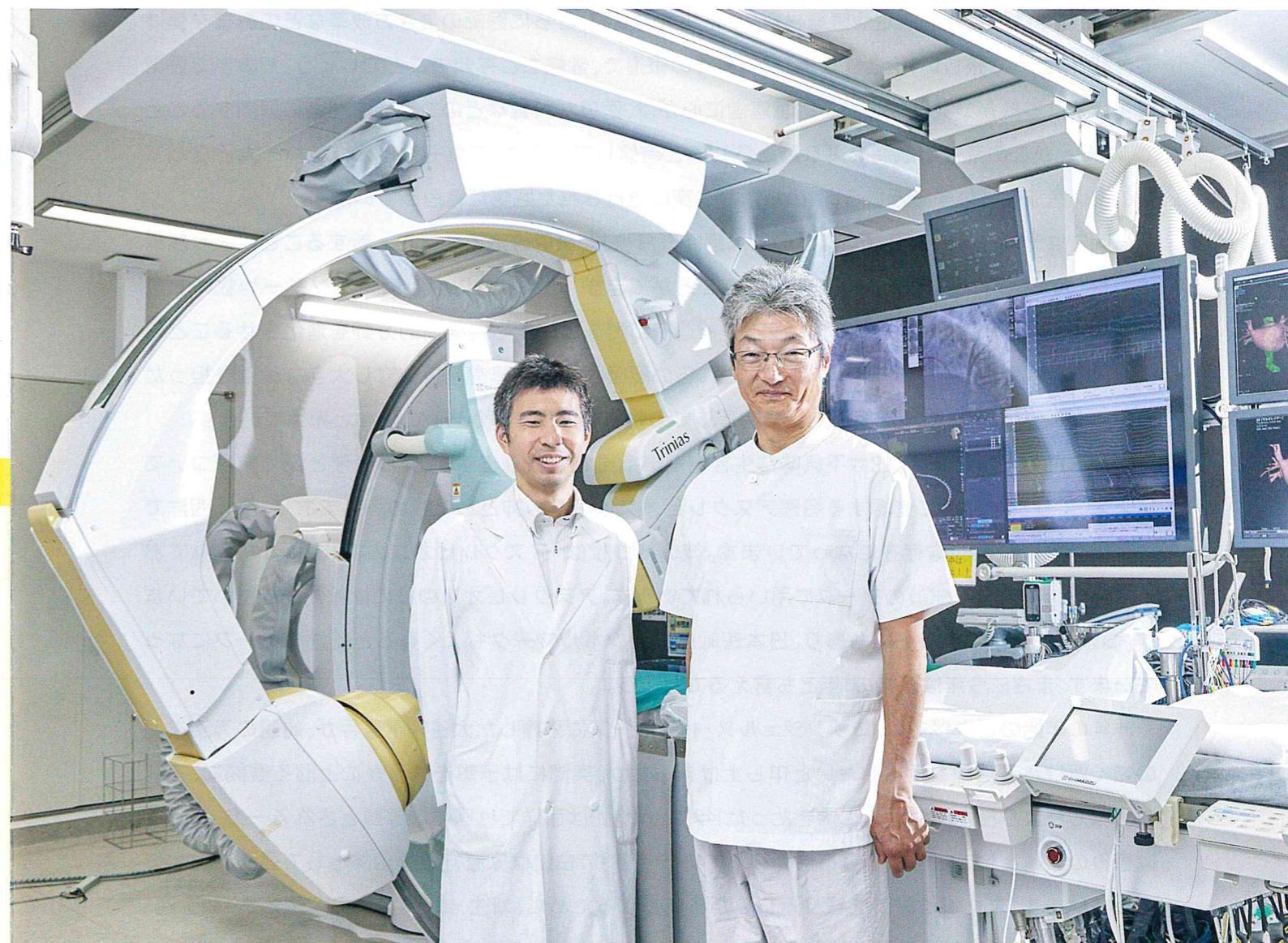
休診 [Feriado] (2025年)

豊田厚生病院 広報誌

豊田厚生 Navi

take free

特集：心房細動の新たな治療法



P2 —— 年始のご挨拶

P3 —— 健康管理センターからのお知らせ～オプション検査のご紹介～

P4 —— 心房細動の新たな治療法

P6 —— 新たに始まる地域医療連携

■ こばやし腎・泌尿器科クリニック

P7 —— 第26回市民公開講座

P8 —— 第8回「健診スクール」

Vol.106

2025 / winter

ご自由にお持ちください

年始のご挨拶

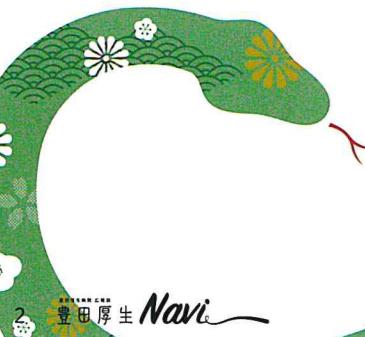
2025年の新春を迎えました。皆様にとって、素晴らしい一年になりますことを心よりお祈り申し上げます。昨年は診療報酬改定や医療材料費・光熱費の高騰、さらに医師の働き方改革などの影響を受けて、病院にとって厳しい1年となりました。多くの報道で、皆様もご存知のことでしょう。その中で豊田厚生病院は柔軟かつ実効性のある病院運営に心がけ、医療材料費などのコストを堅実に抑制することで、なんとかこの荒波の航海を乗り越えられると確信しています。これもひとえに職員一丸となって質の高い医療を提供するという、医の基本が着実に遂行された賜物だと思っています。

当院では昨年、MRI、PET-CTなどの画像診断医療機器、放射線治療装置を一新することにより放射線診療(読影部門・治療部門)の充実を図ることができました。さらに健康管理センター・救命救急センター、入退院支援センター、地域医療福祉連携部門などの多職種横断的分野を進化させることにより、病院全体の機動性が向上しました。これらの要因が病院の運営維持に対し大きな役割を担ったと思っています。今後も地域医療支援病院としての役割を果たすのが当院の使命と考えています。

今年は巳年となります。蛇は不気味な生き物という見方もありますが、実は医学と深く結びついています。ギリシャ神話に登場する名医アスクレピオスは医学の神として崇められており、長く西洋では医学分野の象徴的な存在となっています。彼の持つ杖は「アスクレピオスの杖」として知られています。世界保健機関(WHO)のマークに用いられています。アスクレピオスの杖には蛇が巻き付いています。つまり蛇は医学の象徴でもあり、日本医師会のシンボルマークもよく見ると蛇がモチーフになっています。まさに今年は医学の1年とも言えるでしょう。

昨年の年始のご挨拶では、ロサンゼルス・ドジャースに移籍した大谷翔平選手が、紺碧の天空を龍の如く駆け巡る活躍を期待したいと申し上げましたが、実際には予想をはるかに上回る展開に、アメリカはもとより日本中が大いに沸きたった1年でした。蛇は西洋では医学の象徴とされる一方、日本では恵みの象徴として古くから言い伝えられています。特に白蛇は家を守る屋敷神として信仰の対象になっています。また蛇は脱皮を繰り返しながら成長するために、新生・成長・変化の象徴とされ、金運・財運・健康を呼び込むとされています。巳年にあやかり、当院もさらに成長して、安心の医療を提供し、地域の皆様にとって健康を謳歌する1年になれば幸いです。

豊田厚生病院
病院長 服部直樹



豊田厚生病院

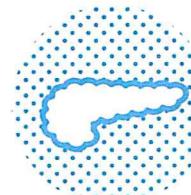
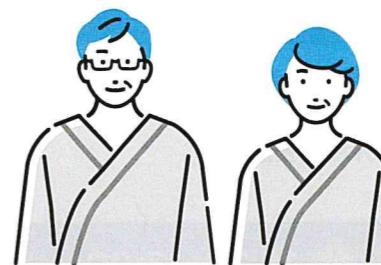
第26回 市民公開講座

だいちょう

大腸がん・肺がん

について知ろう!

~健康を守るためにガイド~



令和7年

3月15日 土 9:30~11:50
(受付9:00~)

参加無料

駐車場無料

お申込み不要

後援：豊田市・豊田加茂医師会・JAあいち豊田

場所/

豊田厚生病院
2階講義室

定員/

170名

演題1 大腸がんの早期発見と内科的治療について

消化器内科 外来医長 内田 元太

演題2 大腸がんの外科的治療の進歩 -da Vinci手術を中心に

外科 下部消化管外科部長 加藤 健宏

演題3 肺がんの早期診断を目指して

消化器内科 代表部長 都築 智之

演題4 肺がんの外科的治療

外科 牛田 雄太

その他
(無料)

講演終了後、健康管理センターにて健診に関する相談、
健診の予約をしていただける時間をご用意しております!
ぜひお越しください。(11:50~12:20)

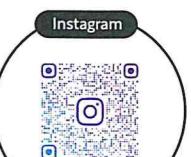


JA愛知厚生連
豊田厚生病院

〒470-0396 豊田市浄水町伊保原500-1

お問い合わせ

教育委員会 事務局(企画課)
TEL (0565) 43-5000



2024年10月 開院

こばやし腎・泌尿器科クリニック

—小林大地院長に伺いました—



院長 小林 大地

Q1 クリニックの特色を教えてください

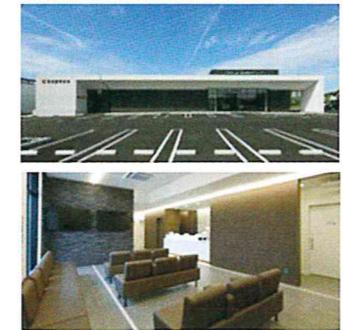
私は大学病院をはじめ、様々な医療機関で臨床経験を積んでまいりました。泌尿器科専門医として、診断から内服治療、手術や放射線治療など幅広く診療を行ってきました。さらに知識を広げるため総合診療を学び、内科疾患や皮膚疾患、末期がん患者様の緩和ケアや訪問診療に携わってまいりました。その経験を活かし、皆様の健康増進並びに生活の質の向上に努めてまいります。

Q2 地域医療連携について先生が大切にしていることは何ですか？

豊田厚生病院やトヨタ記念病院などの近隣の総合病院とも緊密に連携を図り、地域の皆様とのつながりを大切にした、継続的で包括的な医療や予防、健康増進を実現していきたいと思います。

Q3 地域の皆さんへメッセージをお願いします。

泌尿器科に行くのに勇気が出ないという方は多いかと思います。泌尿器科で扱う疾患には、深刻な病気が隠れていることが少なくありません。些細なことであっても放置せず、お早めにご相談いただきたいと思います。皆様にとって身近で相談しやすいクリニックにしていきたいと思います。
どうぞよろしくお願いいたします。



診察科目 泌尿器科・内科・皮膚科

住所 豊田市河合町5丁目15-1

電話 0565-42-5884

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	/	/
15:30~19:00	●	●	/	●	●	/	/	/

休診日:水曜午後、土曜午後、日曜、祝日

「かかりつけ医検索システム」について

「かかりつけ医検索システム」にて、当院と連携いただいている登録医の検索が可能です。
お近くのかかりつけ医をお探しの際などに是非ご利用ください。

サイトURL > <https://app.medigle.jp/toyotakosei/>

こちらからもアクセスできます>

PC画面



スマートフォン画面



健康管理センターからのお知らせ 令和7年1月 新設 オプション検査のご紹介

基本コース(人間ドック・生活習慣病予防健診・法定健診・総合PETがん検診)に
追加する検査項目となります。※単独での検査は行っておりません

検査名・項目・料金	内容等説明	こんな方におススメ
肥満(内臓脂肪量) 検査 検査内容 ▶ 腹部CT 料 金 ▶ 3,300円	肥満は高血圧・脂質異常症・糖尿病などを引き起こす原因になります。また、肥満の中でも内臓脂肪型肥満は心筋梗塞や脳梗塞などの動脈硬化性疾患に関連していることが報告されています。「肥満(内臓脂肪量)検査」で内臓脂肪量の測定を行い、病気の早期の予防・対策に役立てましょう。	<input checked="" type="checkbox"/> 最近太ったと思う <input type="checkbox"/> 食べすぎて運動不足
関節リウマチ検査 検査内容 ▶ 血液検査 料 金 ▶ 2,200円	関節リウマチは、発症初期から適切な治療を行うと病気の進行を抑えられます。しかし、一度関節破壊が進んでしまうとそれが元に戻ることはできません。「関節リウマチ検査」で関節リウマチの発見、発症の予測を行い、早期発見、早期治療に役立てましょう。	<input type="checkbox"/> 朝こわばりが気になる <input type="checkbox"/> 手指の関節の痛みなど違和感がある <input type="checkbox"/> 手足がチクチクする・痺れる <input type="checkbox"/> 全身の疲労感、ふしづしの痛み、微熱、食欲不振が続く <input type="checkbox"/> 家族や親族にリウマチの人がいる
アレルギー検査 検査内容 ▶ 血液検査 料 金 ▶ 7,700円	アレルギー症状を発症する原因となるアレルゲンは、花粉やハウスダスト、食べ物、金属などさまざまなものが挙げられます。「アレルギー検査」ではアレルゲンとして多い36項目のアレルゲンを測定します。どういったものにアレルギーを持っているのかを知り、アレルギー症状を発症させない日常生活を心掛けることに役立てましょう。	<input type="checkbox"/> 発赤、じんましんなどが出る <input type="checkbox"/> 咳、喘鳴、呼吸困難などの症状がある <input type="checkbox"/> 目、唇、口の中、喉のかゆみや腫れ、くしゃみ、鼻水、鼻づまりなどがある <input type="checkbox"/> 腹痛や下痢などがある
LOX-index 検査内容 ▶ 血液検査 料 金 ▶ 13,200円 ※脳ドック・脳ドックプラス 限定オプション検査	「LOX-index」(ロックス・インデックス)は動脈硬化の進行度を数値化したもので、将来の脳梗塞や心筋梗塞のリスクや動脈硬化の初期段階を捉えられるすることができます。当院の脳ドック・脳ドックプラス(旧プレミアム脳ドック)のオプション検査としてお申込みいただけます。	<input type="checkbox"/> 当院の脳ドック・脳ドックプラスを申し込んだ <input type="checkbox"/> 脳梗塞のリスクを知りたい
腸内フローラ検査 検査内容 ▶ 検便 料 金 ▶ 15,400円	ヒトの腸内には1,000種類以上、約100兆個もの細菌が住みついており、その様子を、お花畠に例え「腸内フローラ」とも呼ばれています。腸内フローラのバランス(細菌の種類や量)が悪くなると、下痢・便秘などの不調や、腸以外の病気の発症や悪化の原因にもなります。腸内フローラのタイプを知り、理想的な腸内フローラタイプを目指しましょう。	<input type="checkbox"/> お通じ・おなかの調整に不安がある <input type="checkbox"/> なかなかダイエットが成功しない <input type="checkbox"/> 食生活の乱れが気になる <input type="checkbox"/> 疾患との関連性を知りたい <input type="checkbox"/> 自分の腸内環境を知りたい <input type="checkbox"/> 妊娠・出産を考えている
認知機能検査 検査内容 ▶ 脳の健康度セルフチェック 血液検査 料 金 ▶ 22,000円	認知症の前段階である「軽度認知障害」のリスクを調べることができる検査です。軽度認知障害は認知症の予備軍で、放置されると5年で50%近くが認知症に進行すると言われています。早期に軽度認知障害のリスクを知り、適切な対処・予防を行なうことで、認知症の予防につなげていただけます。脳の機能は、働き盛りの世代から少しづつ衰えが始まります。身体の健康と合わせて、脳の健康チェックも行いましょう。	<input type="checkbox"/> 40歳以上 <input type="checkbox"/> アルコールを多く摂取する <input type="checkbox"/> 喫煙者 <input type="checkbox"/> 食生活が乱れている <input type="checkbox"/> 睡眠不足 <input type="checkbox"/> 血圧や血糖値が高い <input type="checkbox"/> 運動不足 <input type="checkbox"/> 肥満 <input type="checkbox"/> ストレスが大きい



JA愛知厚生病院 健康管理センター

TEL (0120) 78-5050
FAX (0565) 43-5047



詳しくはこちらをご覧ください
URL: <https://toyota.jaikosei.or.jp>



特集

しんぼううさいどう

心房細動の新たな治療法

～パルスフィールドアブレーション治療～

「心房細動」はそれ自体が直接的な死因にはならないものの、脳梗塞や心不全、認知症の進行にも関係する放置できない病気です。

当院ではその新たな治療の選択肢となる「パルスフィールドアブレーション治療」を導入。従来、比較的安全で身体の負担が少ないとされてきた「カテーテルアブレーション治療」よりさらに安全性を高めた治療法で、近年増加傾向にある心房細動の患者さんの治療に貢献できます。



循環器センター長
金子 鎮二

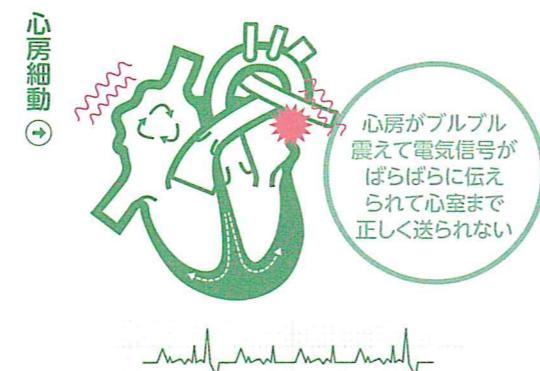
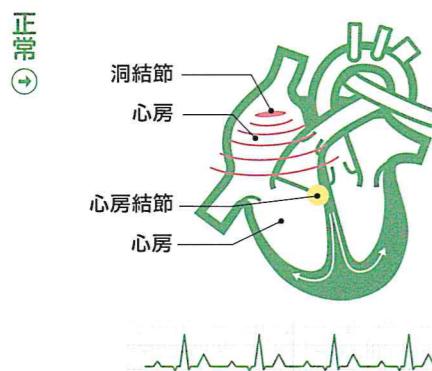
Q 「心房細動」とはどんな病気？

A 健康な人の安静時の心拍数は1分間で100以下とされています。この範囲を大きく上回る100～200程度もの頻脈となり不規則に拍動する「不整脈」の一種が「心房細動」です。加齢に伴い発生率が高くなり、高血圧や糖尿病など生活習慣病の方は発生率が高まります。

心房細動が起こると、心臓の4つの部屋のうち上2つの「心房」が収縮せず痙攣したような状態になります。症状として動悸や息切れなどがありますが、無症状の人もいます。また、気付いて「歳のせい」と見過ごし、そのうち症状に慣れてしまい放置する人も多く見られます。



症状のあるパターン
動悸や息切れ



Q 「心房細動」は何が怖い？

A 「心房細動」自体は直接死に至る緊急性の高い病気ではありません。しかし、心房細動では心房が痙攣した状態となるため、心房内の血液が淀んで血の塊「血栓」ができやすくなります。できた血栓が脳の血管に飛んで詰まると「脳梗塞」を引き起こしたり、腸の血管など内臓の血管を詰まらせることもあります。また、心房細動を長期にわたり放置し高い心拍数が続くと心臓のポンプ機能が弱まっていき、全身に十分な血液が送り出されず「心不全」になります。ほかにも直接的な原因と断定はされていませんが、脳の血流低下や小さな血栓の詰まりなどにより、認知機能の低下や「認知症」の進行にも影響すると推測されています。

「心房細動」の治療

「心房細動」の治療には薬物療法と手術療法があります。



01. 薬物療法

脳梗塞を予防するため血液をさらさらにする薬や心拍数をコントロールする薬を症状に応じて使用しますが、あくまで合併症予防や症状の緩和を目的とするもので、心房細動を根治する治療ではありません。

02. カテーテルアブレーション治療(手術療法)

手術といっても開胸する大掛かりなものではなく、カテーテルと呼ばれる細い管を太ももの付け根から挿入し、心房細動を起こしている心筋の一部を高周波や冷媒を用いて焼灼するものです。手術自体は1～2時間程度で終了し、翌日から歩くことができて入院期間も3、4日程度です。当院では1回の手術で約8割の方が根治しますが、中には再手術が必要になる方もいます。

NEW

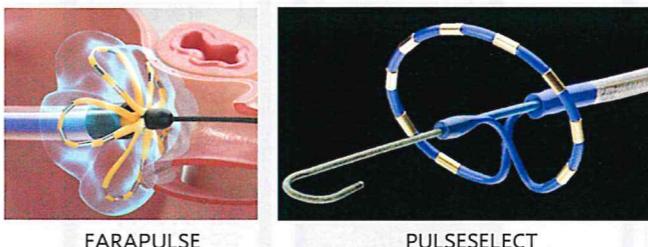
「心房細動」の新しい選択肢 「パルスフィールドアブレーション治療」とは？

心房細動治療における「カテーテルアブレーション治療」は、基本的に安全で患者さんの負担が少ない治療ですが、治療中にカテーテルの先端が心臓の壁を傷つけて起こる「心タンポナーデ」や近接する食道に穴が開いてしまう「左房食道ろう」といった、発生は1%にも満たない非常に稀ではあるものの生命の危機に関わる重篤な合併症を引き起こすことがあります。それだけに術者の技術も求められます。

今回当院に導入された「パルスフィールドアブレーション治療」の最大の特徴は、超高速電気パルスによる熱が発生しない「非加熱」でのカテーテルアブレーションだということです。パルスを用いることで原因となる心筋だけを標的にすることができ、カテーテルアブレーション治療のリスクであった食道や横隔膜など他の臓器に障害を与える合併症のリスクが大幅に軽減され、より高い安全性が担保される治療法といえます。

しかも、従来の「カテーテルアブレーション治療」と同等の有効性があり、今までの「カテーテルアブレーション治療」ほど高い技術力を要しないため、治療時間が従来より2割程度短縮できます。ただし、適用できるのは初めて治療を受ける患者さんで、再発された方は従来の「カテーテルアブレーション治療」となります。

パルスフィールドアブレーション カテーテル



定期健診と症状があれば早期の受診を！

高齢化が進む中「心房細動」の患者さんは増加傾向にあります。症状が進行すれば治療の難易度も高くなり、再発率も高まります。早期発見のためには定期的な健診を通して発症リスクとなる生活習慣病予防に努めるとともに、家庭での「血圧測定」を習慣化することが有効です。心房細動があると血圧計に「エラー」が出るので気づくきっかけとなるとともに、近年は「心電計」の付いた血圧計もあります。まずは「心房細動」という病気を理解し、少しでもおかしいと思ったら速やかに循環器内科を受診してください。